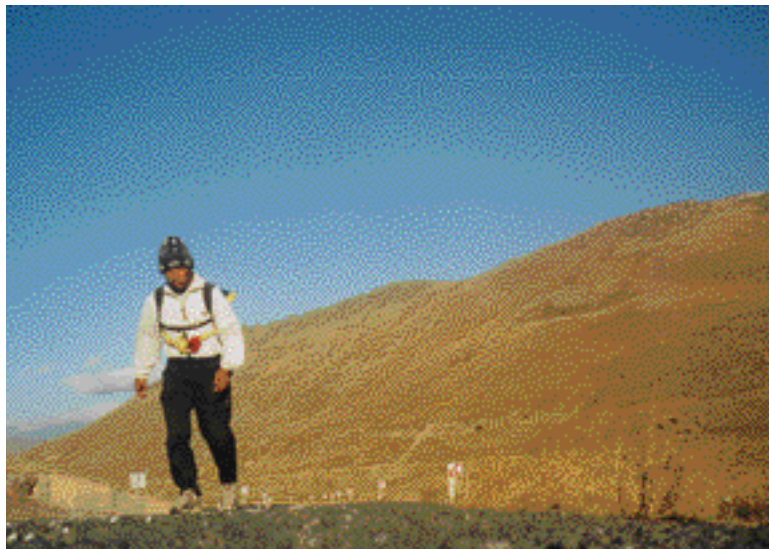


第6回植村直己冒険賞受賞

ジャーニーランナー

中山 嘉太郎



トルコの荒野にて



イスタンブールのゴール地点
トプカプ宮殿の門前で

ウズベキスタンで泊めてもらった民家の家族といっしょに



プロフィール

なかやまよしとろ(山梨県在住)
大学の同期生70人の中に2人の但馬出身者がおり、最近連絡を取り合っている。
会社勤めの傍ら20代後半からウルトラロングのトライアスロンに熱中した。1992年にはメキシコで10倍アイアンマン(38km水泳、1800km自転車、422kmランニング)を完走。その後海外で短期の走り旅(ジャーニーラン)をするが、2000年思い切ってシルクロードの走り旅に出た。中国西安からウルムチまで2675kmを53日間走る。その後いったん日本に戻り南米も走る、4767km99日間だった。2001年ウルムチから走り再開し、暮にイスタンブールへ6699km 152日かかった。現在「クスリの寺田」勤務。

先日お話を頂いて、実は但馬地方が厳密にどのような地域になるのかわからず、地図を広げました。そこでわかったことは、但馬地方が思った以上に広いことでした。そして、今迄兵庫県に行きながら神戸近辺一度に対して、但馬地方はなんと二度も行っていました。すごい！まず最初が自転車で山梨から山口に行った時、豊岡経由で178号線を日本海沿いに西へ。この時は山口に着いた次の日に150kmマラソンに出ました。二度目は出張の帰りにバスで加藤文太郎の故郷・浜坂町に降り散策、そして翌日JRで来て日高町に泊まり、植村直己冒険館を見学しました。と言つ事で但馬地方は私にとって神戸近辺より魅力があつたのでしよう。そして、この度訪れたことのある植村直己冒険館から賞を頂く事になり、びっくりしております。

さて、私のジャーニーラン(走り旅)には心がけている事があります。日本国内では気にしなくてすみますが、外国に行くときは言葉や食事や習慣を地元の人達と同じようにしたいなど。短期の旅行などでは無理かも知れませんが、1ヶ月くらい生活すると少しづつ言葉も分かるようになります。従つてここ1年半の間でシルクロードを走つて、また南米も走つて、それらの地域で使われている言葉をその都度覚えめました。中国で中国語、次のカザフスタン・キルギス・ウズベキスタン・トルクメニスタンの旧ソ連ではロシア語、イランでペルシャ語、トルコでトルコ語を、アルゼンチン・チリ・ボリビア・ペルーでスペイン語を覚えめました。とはいえその程度は初心者の方また初心者くらい。それでも身振りを交え、あれやこれやと話しをし、いい体験をさせてもらいました。

その他に少し苦労したこともありましたが、体調を崩して病院で点滴をうたれたり、あるいは下痢で力が出ず、ある民家に寝かせてもらつたりもしました。体調以外ではカメラと現金の一部を盗まれたり、ニセ警察に問いただされたり、また、11月の16日から1ヶ月はイスラム教のラマダン(断食)も経験しました。

こんな私のジャーニーランだったが、荒野で水や食料が乏しくなつた時、ぼつんとあつた民家から分けてもらった水や食事は今も忘れられない。いずれこの旅でお世話になつた方に、写真や記録をまとめてお礼を言いたいと思つていきます。

6月には日高町へ植村直己冒険賞の表彰式に伺いますが、その時は小中学生や年配の方から但馬地方の方言を教わりたと思います。

植村直己冒険賞

日高町は世界の冒険家・植村直己が生まれ育つた町です。植村直己冒険賞は日高町が主催し、植村直己さんの精神を継承し、人々に夢と希望、そして勇気を与えてくれた創造的な行動を表彰しようとするもので、1996年に創設し、今年で6回目を迎えました。

8月

道の日イベント

場所/豊岡駅前アイティ



8月10日は「道の日」、道路の意義・重要性を認識していただくとともに、道路愛護の精神を高めることを目的として、イベントをおこなっています。道は私たちの生活にとってなくてはならないものですが、あまりにも身近すぎて大切さを忘れがちです。楽しく学べるクイズ大会、道の役割や重要性をわかりやすく解説したパネル展示、アンケート、キャラクターショー、着ぐるみアクションショーなど、皆さんに楽しんでいただきました。



11月

たじまDOBOKU フェスタ

場所/豊岡駅前アイティ



11月18日は「土の日」、くらしを守り、支えている土木のことを知っていただくために開催しました。土木技術を紹介するパネル展示

コーナーやたじまの土木 ×クイズ、講演会「くらしと土木のハーモニー」、桂小春団治の落語ゴスペル「緑の惑星(ほし)」、キャラクターショー、大道芸などにぎやかな1日となりました。また、土木・建築作業現場や災害時に活躍する特殊作業車を一堂に集めて展示しました。普段見る機会が少ない作業車、しかも中に乗り込めるとあって、子どもたちに大人気。この時でない体験できないことがたくさんありました。



楽しいイベントがいっぱい!

ボク、ぶるるんです。国土交通省豊岡工事事務所が主催し、平成13年度に行つたイベントを紹介し、今年度もいろいろなイベントをする予定なので気軽に遊びに来てね!



円山川のイメージキャラクターぶるるん

7月

円山川フェスタ

場所/豊岡市六地蔵円山川河川館



7月7日の「川の日」にちなんでのイベント。「河川愛護・美化」の理解と認識を深めていただき、今後「河川事業」への積極的な参加をお願いしています。もっとも川を身近に感じていただくために、

去年は六方排水機場の見学や国土交通省の河川事業への取り組みを紹介したパネルを展示しました。また、子どもたちが大好きなキャラクターショー、クイズ大会、吹奏楽団の演奏、ジャンボ七夕、ストーンペインティング教室、竹細工教室など、みんなが楽しんでいただけるイベントをおこないました。



土木のイメージキャラクタードボツ君

クイズに答えてステキな賞品をもらおう! どんどん応募してね!

たじまの土木 OXクイズ

- 問題① 円山川は、兵庫県生野町円山を源に日本海へ流れている川です。では、円山川の長さ「南宮トンネル」よりも長い。
- 問題② 豊岡市の寿公園、冠郷、寿ロータリーの中に中江堰池の橋があります。さて、中江氏は大正から明治にかけて、豊岡市の地盤をつくるために多大な財政支援を行った人である。
- 問題③ 兵庫県を訪れる観光客は年間1千万人ともいわれています。観光客が、豊岡に来る交通手段のうち、自家用車で来られる人は全体の約20%である。

さあ、わかったかな? 上記の問題が揃っていれば○、間違っていれば×を書いて、左記の住所へ1がキで送ってください。

応募締切 平成14年7月末日必着

賞品 * 携帯ストラップ

ぶるるん



10名様

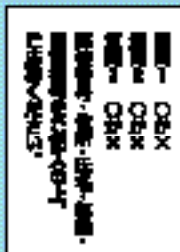
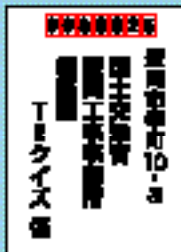
ドボツ君



10名様

ボクたちの携帯ストラップもらってね!

たじまの土木 ×クイズに応募していただきますと、抽選でステキな賞品が当たります。当選発表は発送をもってかえさせていただきます。



国土交通省豊岡工事事務所

TEL 0796-22-3126(代表)

http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/